

尼崎小田高校 英語CAN-DOリスト(5領域)

		聞くこと(L)			話すこと(S) [発表]			話すこと(S) [やりとり]			読むこと(R)			書くこと(W)		
		1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
A1 5～3級	1	L1-③簡単なあいさつの言葉を聞き取ることができる。			S1-①日常生活の身近な単語を発音することができる。			S1-②簡単な質問に対してYes/Noを使って、答えることができる。 S1-③教室でよく使われる“Stand up”“Sit down”“I'm fine”などの簡単な表現ができる。			R1-②日常生活の身近な単語の意味を理解することができる。 R1-③日常生活の身近な単語で書かれた短い英文の内容を理解することができる。			W1-③日常生活の身近な単語や数字(1～10)を正確に書くことができる。		
	2	L2-②ゆっくり話されたら、授業でよく使われる指示を理解することができる。 L2-③ゆっくり話されたら、ALTの自己紹介を理解することができる。			S2-①簡単な自己紹介(氏名、学年、学校、家族、住所など)をすることができる。			S2-②日常生活の簡単なあいさつや数字、日付、季節、天気を伝えることができる。 S2-③相手の言っていることがわからない時に、繰り返してわかりやすく話してもらうよう頼むことができる。			R2-②すでに習った単語で書かれた短い英文の内容を理解することができる。			W2-①曜日や月名、数字(2ケタ)を正確に書くことができる。 W2-③自己紹介カードに氏名、学年、学校、家族、住所などを記入することができる。		
	3	L3-②すでに習った短い英文を聞いて、内容を理解することができる。 L3-③ゆっくり話されたら、ALTの指示に従って活動することができる。			S3-①簡単な語句を使って、自分の感情や感謝の気持ちなどを表現することができる。 S3-②日常生活の出来事や自分に関することであれば、簡単な表現で述べるができる。			S3-③学校や自分のことなど、身近な話題について、ALTと短い会話をすることができる。			R3-①身近な話題に関する簡単な短い英文を、単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。			W3-③日常生活での出来事や学校生活の感想を、簡単な単語を使って書くことができる。		
A2 3～準2級	4	L4-①ゆっくり話されたら、ALTの説明を理解することができる。			S4-①身近な話題について、準備をした上で、簡単なスピーチをすることができる。 S4-③自分が学んだことや経験したことであれば、簡単な表現を用いて、述べるができる。			S4-②簡単な表現を用いて、待ち合わせなどの約束をすることができる。			R4-①簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を、単語や熟語の意味を調べながら読み、理解することができる。			W4-①辞書を使えば、簡単な内容の日記や、自分の経験を短い文で書くことができる。		
	5	L5-③ゆっくり話されたら、自分が知っている外国の行事や習慣についての説明を理解することができる。			S5-①すでに習った表現を使って、リズムやイントネーションに注意して、話すことができる。			S5-②よく知っている場所であれば、地図や道案内を見ながら、道順を教えることができる。 S5-③比較的ゆっくり話されれば、自分のスピーチに対する質問に答えることができる。			R5-②簡単な英語で書かれたまとまりのある説明や物語を読み、80%以上理解することができる。			W5-②将来の夢や現在の高校生活の様子やこれまでの思い出などに関する文を書くことができる。		
B1 準2～2級	6	L6-①すでに習った少し長い英文を聞いて、内容を理解することができる。 L6-②ALTによるインタビューテストなどで、日常生活や身近な話題に関する質問の内容を60～70%程度理解することができる。			S6-①教科書で習った話題について、キーワードを頼りに、内容を大まかに説明することができる。 S6-②身近な話題について、簡単なプレゼンテーションをすることができる。			S6-③身近な話題について、キーワードを頼りに、内容を大まかに説明することができる。			R6-②まとまりのある説明、評論、物語、随筆などの内容を理解し、概要や要点を理解することができる。 R6-③すでに習った英文を、感情を込めて聞き手に内容が伝わるように音読することができる。			W6-①聞いたり読んだりした内容に関して、簡単な単語を使って、感想や意見を短く書くことができる。		
	7	L7-②授業で聞く天気予報や空港のアナウンスを、何度か聞けば、80%以上理解することができる。			S7-①自分が聴いた音楽や観た映画などについてであれば、自分の考えや感想などを述べるができる。 S7-②短い読み物や記事を読んで、メモがあれば概要を説明することができる。			S7-③身近な話題について、友人のプレゼンテーションを聞いて、内容について簡単に質問をすることができる。			R7-①まとまりのある説明、評論、物語、随筆などを読み、各段落のキーワードを探し、それを手がかりに内容を60%～70%程度理解できる。			W7-①身近な話題に関して、簡単な理由を示しながら、賛成/反対の意見を書くことができる。		
	8	L8-②ALTによるインタビューテストなどで、日常生活や身近な話題に関する質問の内容を80%以上理解することができる。			S8-①少し長めの読み物や記事を読んで、キーワードを頼りに、内容を大まかに説明することができる。 S8-②身近な話題であれば、要点をまとめながら、1分間程度で話すことができる。			S8-③身近な社会問題について、自分の意見を簡単に述べることができる。			R8-③比較的長い説明、評論、物語、随筆などを読み、全体から筆者の主張や論旨を理解することができる。			W8-①文と文を and, but, because などをつないだり、時間、場所や条件などを追加しながら、正確な情報を備えた文を書くことができる。		
	9	L9-①自然なスピードで話されても、日常生活での会話を理解することができる。			S9-①パワーポイントなどを用いて身近な社会問題についてプレゼンテーションをすることができる。			S9-②電話で相手と会う約束をすることができる。 S9-③身近な社会問題について、準備をした上で、簡単な議論をすることができる。			R9-①社会的な問題に関する連続した複数の段落から構成される英文を読み、各段落の内容を理解し、英文の流れを把握することができる。			W9-②いくつかのパラグラフを使い、流れが分かる文章を書くことができる。		
B2 2～準1級	10	L10-②プレゼンテーションやディベートで、身近な話題であれば、長い話や複雑な議論の流れを60～70%理解することができる。 L10-③海外のニュース(BBC・CNNなど)を聞いて、映像を参考にすると、内容を60～70%程度理解することができる。			S10-①身近な社会問題について、意見や論点を整理しながら、自分の考えを主張することができる。			S10-②友人のスピーチやプレゼンテーションを聞いて、概要を理解したうえで、意見を述べたり、質問を投げかけることができる。 S10-③電話で相手に予定の変更を伝えることができる。			R10-③レポート作成やプレゼンテーションのため、インターネット、雑誌、新聞から必要な情報を読み取ることができる。			W10-③根拠を示しながら、複雑な文構造を含んだ、つながりのある文章を書くことができる。		
	11	L11-①プレゼンテーションやディベートで、長い話や複雑な議論の流れを60～70%程度理解することができる。			S11-①授業で扱ったテーマをもとに、自分なりの新しい視点を加えて、プレゼンテーションをすることができる。 S11-②英字新聞の記事を読んで、概要を説明することができる。			S11-③ネイティブスピーカーと幅広い話題について十分に対話を続けることができる。			R11-①社会的な問題に関する比較的長い英文を、知らない語句を推測したり、背景知識を活用しながら、理解することができる。			W11-①筋道だった議論を展開しながら、自身の感情や体験を含んだ文章を書くことができる。		
C1 1級	12	L12-①プレゼンテーションやディベートで、長い話や複雑な議論の流れを80%以上理解することができる。			S12-①社会的な問題に関するプレゼンテーションを行い、聞き手からの意見を聞きながら反論S3-①同意を根拠とともに流暢に表現することができる。 S12-②英字新聞の記事を読んで、その内容を詳しく説明することができる。			S12-③複雑な議論に対しても、聞き手の意見を尊重しながら、積極的に自分の意見を表現することができる。			R12-①社会的な問題に関する英語のホームページを読んで、80%以上理解することができる。			W12-①明瞭で説得力のある論理展開があり、自分なりの表現を含みながら、読み手に効果的に伝わる文章を書くことができる。		